



## 現・旧受講生の方々にご意見を頂戴しました

*Merci infiniment pour vos messages !*

\*実名でお寄せ下さった方から順に、お名前の 50 音順に掲載しております

---

### 加川慎二 (Boulangier S.KAGAWA オーナーシェフ・大阪)

フランスでの労働を視野に入れてパン屋で働いていたのですが、偶然にも職場にルクルールの元受講生がいらして、その方に紹介してもらったのがルクルールとの出会いです。職業柄、フランスの文化と密接に関係しているので、2年に1度のペースで渡仏し、現地の空気を感じるようにしています。フランス語に限らず、興味のある国があるのなら、その国の言語を学ぶべきです。言語の背景にはその国の文化があります。そして文化をより身近に感じ、理解できれば、さらにその国のことを好きになります。ルクルールでは、語学学習だけではなく、映画や建築、食文化についてのサロンも開催され、文化的側面からのアプローチもできます。フランスを知ることが出来るのがルクルールだと思います。

---

### 小八重恵子 (カフェ従事・大阪市内)

フランス語は何気なく読んだ本でスイッチが入りました。フランス語は未知の世界ですが、割とすんなりと入って行けた気がします。でも一人ではつまづく事も多くて、ネットで探し始めたフランス語教室の中にルクルールがありました。

北浜という場所、そして小さなフランス語教室ということに惹かれました。ルクルールはレトロな街北浜の、レトロなビルの3階にあります。教室というより、パリのアパートマンの一室という感じで、ドアを開けるとそこはもうフランスの香り、もう外国なのです。

ルクルールでは主宰のミカさんと生徒さん6人で行った南仏の旅が、楽しかったです。泊めていただいたお宿の方にフランス語でお礼を言ったり、パリでは皆さんバラバラ自由行動、ミカさん指定のレストラン

ンに自力で集合とか、一味違ったステキな経験が出来ました。小さな教室で、先生や生徒さんたちと触れ合う事が出来たからこそその楽しい旅でした。

パリのカフェでコーヒーを注文したり、古いパッサージュでお買い物したり、素敵な夢を叶えませんか。まずは最初の一步から。ドアを開けたら楽しい先生が待っています。ぜひ。

---

### **小林明音（個人事業主 PI-produce / 京都市在住）**

ルクールに通っていたのは、結婚して大阪に移り住み、新しい環境で生活を始めた頃のことです。街の景観や都市の成り立ちに興味があったので、写真や映像で見る美しいパリの街並みを、いつか自分の眼で見てみたい、という願望を持っていました。さらに、美しい街にはどんな暮らしがあるのだろう、と、フランスに住む方々の生活スタイルにも関心を持っていました。いつかフランスに行くため、そして、フランス人にはフランス語しか通じない、などという迷信も手伝って、日常会話くらいはできるようにと、フランス語教室を探したのが始まりです。

私は、何事も体全体で感じるタイプなので、学ぶ環境にこだわります。

「フランス語教室」で検索し、素敵なビルの一室でこじんまりと教室をされているルクールに目がとまり、さらに、主宰者の MIKA さんにお会いし教室創立のきっかけをお伺いし、すぐに決めました。大正時代に建てられた元銀行の新井ビル。外観や螺旋階段が美しく、ただただ、このビルの一室に毎週通えるのが楽しくて。ルクールに行くと、まだ私の妄想でしかないパリの片隅にいるかのような錯覚を覚えながら、フランス語を学んでいました。

通い始めて 2 年目。フランスへの研修旅行の機会がありました。フランスを知り尽くしている MIKA さんと一緒に憧れのパリに行ける・・・また即決です。それはもう、夢のような時間でした。MIKA さんや教室と一緒に学んでいる方々と一緒に行かせていただいたことで、観光客としてではなく、まさに、日常に近いパリを感じる事が出来ました。パン屋さんから漂う香り、デコボコした石畳の道、飛び入り参加したジャズダンス教室、MIKA さん案内の建築巡り、小さなキッチン付きの部屋・・・。妄想ではなく現実のパリを体全体で感じる事が出来ました。ルーブル美術館の中でスケッチをする小学生たち、小さな料理教室で出会った奥様方の洗練された服装や会話、街中のカフェの居心地の良さ・・・。美しい街並みには、そこに暮らす人の生き方や育ち方が表れていることを、実感した時間でした。

私は 2007 年に京都に引っ越し、現在、京都の景観をどのように次の世代につなげるかを考える仕事に携わっています。そして今改めて、日本人としての暮らし方を体全体で感じています。パリにはパリの、

京都には京都の、それぞれの暮らしがあってこそ、それが目に見える景観となっている・・・私とフランスの出会い、そのことに気づかせてくれました。

今でも、MIKA さんの写真やブログを見て、フランスの風景や暮らしを身近に感じています。ルクールで学んだのはフランス語だけではなく、また、素敵な方々との出会いだけではなく、新しい自分との出会いでもありました。無機質な語学教室に通うだけでは得られない、体全体でフランスの空気感を体験できるのがルクール。私みたいにフランスに行ったことのない人も、きっと、自分だけのフランスの見方が発見できると思います。

---

### 他谷絵巳 (夫婦でワイン食堂を営むソムリエール・熊本在住)

当時フランス料理店で働いていた私は、フランスへの強い憧れもあり、いつかフランスで働いてみたいと思っていました。そのためにはまず語学、と思いフランス語教室を探しました。レトロなビルの一室にある教室。全く初めてフランス語を勉強する私は見学をさせてもらって、そのこじんまりとしたアットホームな雰囲気になんか安心し、フランスの香りのするそのサロンがすぐに大好きになりました。

週に一度、決まった時間の授業。授業の数時間前に北浜のいくつかのカフェで予習をしてから授業に向かうのが私の休みの日の楽しみでした。フランス語を勉強する理由はいろいろだけど、みんなフランスが好き。そんな人たちと過ごす時間も興味深く刺激的でした。

初めていった本物のフランスは、教室のみんなとの旅行でした。そのときの旅の思い出は、私の人生の中で今でも輝く大切な時間です。今はいろんなアイテムでフランス語を勉強できると思います。でもだからこそ、フランスを感じられる空間で、フランス好きの人たちと共有できる時間が生きてくると思います。フランス語を通しての人との出会いやその響き香りを感じながらフランス語に触れることが、文化としての言語を習得する上でとても大切なことだと今も感じています。今は遠く離れています、私にとってルクールはフランスと私を繋ぐ大切な場所です。

---

### 筒井桃子 (Le fruit de l'aurore パティシエール・大阪在住)

フランス語を始めたきっかけは、「フランスにワーキングホリデーに行きたい」と思ったことでした。英語も受験英語止まりで、語学に特別な関心もセンスもない私ですが、「フランスで働きたい」というモチベーションと、運よく、思い立った半年後にビザが取れたため、必要に迫られて必死で勉強しました。最初は、「とにかく会話ができればいいんだし」と思って、「初めてのフランス語会話」といった類いの本を使

って自分で勉強し、分からないところ、疑問に思ったところを、フランス語が話せる知人に教えてもらっていたのですが、早く習得したいのに、すごく初歩的なところで引っかかってしまい、すぐに“分からないところだらけ”になって、思うように身に付かず、「やっぱり語学学校で基礎から学ぼう」と思い直しました。

当時は東京に住んでいたため、最初に通った学校はルクールではないのですが、「半年後にはフランスに行く！」と焦っていた私は、「入門クラス」を飛び越えて、「初級クラス」を選択。週2回のクラスでしたが、すぐに「ついていけない」と感じ、慌てて「入門クラス」も並行して受講することに。「入門クラス」と「初級クラス」を同時に取っていたので大変でしたが、「入門クラス」を受け始めたことで、ようやく「初級クラス」の内容も理解できだしたのを覚えています。まさしく「急がば回れ」ですね。

その後、1年間のワーキングホリデーでフランスで働いた後、フランス語を忘れないために、実家のある大阪で語学学校を探して会ったのがルクールでした。少人数でリラックスして学べそうな感じと、古めかしい建物の中にあったのも、私にとっては落ち着くポイントでした。

「フランスを旅行したい」という人は多いと思いますが、実はフランス旅行で一番苦労するのが食事ではないでしょうか？日本のフレンチレストラン同様、「〇〇の▲▲仕立て、◇◇を添えて」のような料理名がフランス語で書かれているので、フランス語を学んでいるのといないのでは、理解力（読解力？）に大きく差が出ると思います。もちろんサービスの人に聞けば説明してくれるのですが、それこそ、フランス語を学んでいるからできることですしね。

地方に行けば、英語が通じないこともしょっちゅうですが、「フランスは地方こそ面白い！」と思っている私は、是非フランス語を勉強して、フランスの地方を旅することをオススメします！

---

## 中川あい子（[La Cave de l'Insolite](#) シェフ・パリ在住）

ルクール 15周年おめでとうございます！！

毎週木曜の夜に通っていた頃がなつかしいです。自分の目指していた仕事でフランスに行くのが夢だった私にとって あの小さな教室での空間はプチフランス留学でした。

講師がフランス人であること、これがやはりフランス語を学ぶ上でとても重要だったと今改めて思います。

私の場合フランスで仕事をしたいと思っていたので 文法はもちろんですが 教科書にはない言い回しや普段の親しい間柄での話し言葉なども学べたことで 実際こっちに來たときにあまり物怖じすることなく会話に入っていけたような気がします。

お陰さまで フランス生活のいいスタートをきることができました。本

当にありがとうございます！今でもまだまだ学ぶことは山積みですが…

フランスに旅行してみたい方、働いてみたい方（ワーキングホリデー！）、その前にちょっとでもフランス語を学んでみてください！！現地の人達と少しでも会話ができると 何倍もフランス滞在が楽しくなりますよ！！

改めまして 15 周年おめでとうございます！！

これからも あの教室で 素敵な空間を作り続けてください！！

---

## 福田裕大（大学教員）

ルクール開校 15 周年本当におめでとうございます。

初めて教室の HP を見つけたのは確か 2005 年ごろだったのではないかと思います。当時の僕は大学院の博士後期課程に進学したばかりで、長年の夢だったフランス留学を実現させるために、本格的な会話力を身に付けたいと考えていました。ビジネス街に教室を構える語学学校としては、どちらかという「珍客」の部類だったのではないのでしょうか。

とはいえ、ルクールという場は、そんな「珍客」を快く（あっさりと？）受け入れて、様々な学びの機会を提供して下さいました。

通常のクラスに加えて「映画クラス」や「フレンチ・カフェ」といった絶妙の企画が毎月開催されていて、これらの時間も僕にとって非常に貴重なものとなりました。「映画クラス」は 2～3 週に 1 本のペースで映画を鑑賞しつつ、シノプシスや劇中で用いられた言葉遣いなどについてネイティブたちと議論するという授業で、フランス語で対話するためのチャンネル（聞いて→理解して→話す）がずいぶん活性化されたように思います。他方の「フレンチ・カフェ」は「日本語厳禁！」の三時間で、日頃の成果を発揮すべく、毎回いろいろな課題を設定してチャレンジしたことが懐かしく思い出されます。

こうしたありそうでなかなか無い、作ろうと思っても（たぶん大規模校などでは）なかなか作れない形態のクラスを早くから実現し、今日に至るまで継続していることは、間違いなくルクールというフランス語教室の懐の深さなのでしょう。けれどそれだけではなく、どんなクラス、どんなイベントが開かれても、その場にいつも大らかで *accueillante* な雰囲気が生みだされていることが、この教室の最大の魅力なのだと感じています。

自分が受けてきた授業のことを振り返ると、そこにはいつも *mika* さんの姿があって、主宰者自らが教室の空気を作り、動かそうとしていたことが思い出されます。この日本に長く暮らしていると、「外国語で話す」ことに対して自分の身体を開いていくことがひどく困難に感じられるものですが、*mika* さんのいるクラスにはいつも、「そんな



ことはない、難しくてもとりあえず喋ってみよう」と自分を後押ししてくれるような雰囲気がありました。

僕自身、そうした雰囲気に導かれてフランス語を話せるようになった生徒の一人です。今では大学という場所でフランス語を使った仕事をしていますが、そうした今の自分の根元には、ルクールという場所で様々な方々に出会い、フランス語で対話を重ねた経験が据えられているということを、これからも忘れずにいたいと思っています。

今後ますますのご発展をお祈り申し上げます。

---

### Atsuko (アロマテラピートレーナー・雑貨店経営・大阪在住)

私とルクールの出会いは、五感にケーキを買いにいったときに、ふと目にした葉書サイズのスクール案内をみて、心が動いたのです。フランス、特にパリには、毎年行っており、フランス語がまったくわからなくて困ったこともあったのに、そのままにしていました。でも、このままではいけないと思っていたときに、ルクールの案内が目にとまりました。

通ってみると、毎回ほんとに楽しくて、フランス語が大好きになりました。そして昨年秋に、パリに短期留学しました。パリのフランスラングという語学学校に4週間いきました。Mikaさんに手続などをお願いし、まさか語学留学なんて、夢に終わると思ってましたが、実現したのです。

パリ短期留学のあとは、mikaさんと合流して、プロバンス地方をまわり、その後、カンヌ、グラスを一人でまわり、パリから、日本に帰ってきました。約2ヶ月、フランスにいました。ルクールにいったからこそ、こんな素晴らしい体験ができました。mikaさんに、心から感謝しています。

実は、私は去年還暦をむかえました。自分への還暦祝いのフランス行きでした。ルクールに行き始めたのも50代半ばを過ぎてからです。年齢を重ねても、ワクワクすることはたくさんあるし、まだまだ冒険もできるし、素晴らしい出会いもあります。ルクールに出会えたおかげで、私の人生が、とても豊かなものになりました。

---

### etsuko (フランスブランド・インポート MD・東京在住)

ワーキングホリデーVISAが取れたものの、フランス語は全く話せないのに半年後に渡仏を控えてフランス語教室を探していたところ、たまたまネットでルクールに出会いました。まだオープン前でしたが、教室におじゃまするとmikaさんが快く対応してくださり、フランスのお話をたくさん聞かせてくれたのを思い出します。

歴史的建造物のレトロビルでフランス語を習えるのも嬉しかったです。

教室もパリのアパートマンのように可愛らしく、一目惚れでした。  
フランス語だけでなく、映画のクラスや、フレンチカフェ、パリの建築のクラスなど、文化クラスが充実していて楽しかったです。  
ただフランス語を学べる場所はたくさんあるけれど、ルクールでは実際のフランスの生活を通して、本当のフランスを教わることができました。様々な側面のフランスの話を知っていたので、パリ症候群になることなく（笑）、フランス生活を満喫することができました。  
一年間のフランス生活は毎日が本当に楽しく、充実していました。ルクールで実践重視のフレンチカフェや mika さんや留学経験者の生徒さんから教えて頂いた知識がかなり役立ちました。  
帰国後はフランス企業の日本支社で勤務後、フランスのブランドの輸入業務やマーチャンダイジングの仕事をしています。  
今は東京在住なのでルクールに通うことはできないのですが、東京にもこんな教室があればうれしいなあ。  
15周年、本当におめでとうございます！

---

### Hiroe（特許事務所勤務・パリ在住）

ルクールとの出会いは、大阪の特許事務所に勤めていた頃です。その頃、私は、何か趣味でも、と軽い気持ちで始めたフランス語に夢中になっていて、仕事や家事の合間に、暇さえあれば、ラジオ講座でフランス語を聞いていました。でも、どこか物足りず、もっとフランスの空気を感じられるような場所があれば…、と思っていたところ、出会ったのがルクールでした。  
レトロなビルでのアットホームな雰囲気、それから、イラストが得意なネイティブの先生が、レッスン中によく描いてくれる絵が、なんともフランス風で楽しかったのを良く覚えています。教室での出会いにも恵まれました。思い切って出かけたパリのソルボンヌ夏期講座受講中に、教室で一緒した K さんと、ツール・ド・フランス観戦やカフェ巡り…、と、夏のパリを満喫したのも素敵な思い出です。  
その後、縁あって、パリの特許事務所に勤務することになり、丸5年経ちました。フランス語を始めた頃は、まさかフランスで生活することになるうとは、想像もしていませんでしたが、フランス語のおかげで、私の人生は大きく変わり、そして広がりました。  
言葉を学ぶことは、人に新しい思考と視野を与えてくれます。フランス語で話す時、自分の中に、日本語で話す時とは違う視点が生まれているのを感じることがありますが、そのおかげで、物事を自然と複数の側面から見ることができたり、時には、気持ちまで遅しくなることがあります。  
また、フランス語を学ぶことで、新たな楽しみもたくさんできました。オペラやお芝居をフランス語で観たり、ワインやガストロノミーをフ

ランス語で楽しむ。土地の文化が、原語のままスッと自分の中に入って来た時、少し大げさかも知れませんが（笑）、なんとも贅沢な時間を味わっているなあ、と感じます。

皆さんも、是非一度、フランス語の扉を開いてみて下さい。きっと新しい世界が広がると思います。

---

### Jo（証券会社勤務・大阪在住）

ルクールと出会うきっかけは、五感にあった1枚の葉書でした。NHKの仏語講座を何となく毎週見ているフランス語の音が好きだなーと思っていたところにテレビの深夜映画で偶然フランス映画をみて、これがとても面白かった。ちょっと興味が出たころに葉書を見つけ、導かれるようにルクールへ通うことになりました。初めて教室を訪れて、おしゃれでかわいい教室に心を捕まれ、またいい意味で教室ぼくないので肩の力が抜けてリラックスして学べるのも魅力でした。

ルクールと出会ったことで初めてフランス旅行にも行き、それまで知らなかった南仏にも触れますます興味が湧いてきています。

語学の苦手な私でも、ゆっくり進めていけるサロンのようなクラスもあり、みんなでテレビや雑誌ではわからないフランスのあれこれをお喋りしてすることは私にとって癒しであり、日本以外へ目を向けるいい機会になっていると思います。

また、継続はやはり大事で、ゆっくりでも続けていけば何となく、少しずつですが身につくのだと実感しています。北浜のフランス、ルクールで大袈裟なようですが、私は生涯学習を見つけたと思いました。

---

### madame T（主婦・パリ在住）

私がフランス語を習い始めたのは、夫がフランス駐在の辞令を受けたのがきっかけでした。それまでの私はフランス語なんて全くと言っていいほど関係ない生活で、簡単な挨拶はおろかABCの読み方さえ知らない状態でした。

夫の赴任に帯同するにあたり、最大の問題は病気がちだった「愛犬」の存在。日本に愛犬を置いていく選択は出来ないけれど、かと言ってフランスに連れて行って私の語学力が無いせいで愛犬に辛い思いをさせたくない…不安を抱えながらも何はともあれフランス語力をなんとかせねば！とルクールさんに通い始めました。

いくつかある語学学校の中でルクールさんを選んだ理由は通いやすい立地で少人数制のアットホームな雰囲気、なのにお値段がリーズナブルな点が私のニーズにマッチしたからです。どのクラスに通うか迷いましたが、問い合わせメールで相談したところ親身になって相談にも応じてくださり、単発の旅行会話レッスンやプライベートレッスンも



併用し短期間で効率よくフランス語を学び、フランス語に慣れてから出発の日を迎える事ができました。

私が何よりルクールさんを選んで良かったと思ったのは、講師の先生方がやさしく親切で具体的な質問や相談をしやすかった点。そして、一緒にレッスンを受けた仲間や先生とフランス語学習を通して今でも連絡を取り合える繋がりができた事は私の一生物の宝物だと思っています。

人種が多様で文化も環境も違うフランスでの滞在には不安がつきもの。冷たいと思われがちなフランス人ですが、実は優しくて温かい人も沢山います。そんなフランスを楽しむにはフランスの文化や人を理解し、少しのフランス語でも話せれば言うことなしです。

もし、フランス語を始めようかと迷われてる方がいらっしゃれば、初心者でも大丈夫です。フランス語を学ぶのに遅すぎる事はありません。是非気軽にルクールへ通ってみられる事をお勧めします。

素敵な建物の中の教室はまるで小さなパリの様ですよ！

---

### masuo（住宅関連会社勤務・大阪在住）

初めてフランスに行ったのは、美味しいスイーツを巡るというツアーに参加した時でした。スイーツ目当てで、フランスのことは、全く興味もなかったのですが、初めてのフランスは見るもの全てが新鮮で、どこを見ても絵になる風景に感動の連続でした。

その時に、私の心に留まったのは、スイーツではなく、カルーセル橋から見た景色でした。涙が出る程美しく、もう一度、この景色を見に来ようと心に決めました。

帰って、フランス語を話せたらいいな、軽い気持ちで習ってみようかなと、検索して、目に留まったのがルクールでした。ABCも読めなかったのですが、最初は授業についていくのも必死で、途中何度もやめようかなと思ったのですが、もう半年、もう半年と繰り返していくうちに、フランス語も面白くなりました。

ここまで通うことができたのは、優しく丁寧に教えてくれる先生方と、クラスで一緒になった仲間でした。少人数なので、仲良くなりやすいですし、アットホームな雰囲気がとても居心地良く勉強できました。フェットや、研修旅行、フランスに関するイベントも沢山あるので、初めましてでも、フランスが大好きという共通点があるので、会話も弾みますし、年齢も職業も違う友達がたくさんできますよ。

習った後にフランスに行った時は、あちこち書いてあることがなんとなく分かる！とすごく嬉しかったです。カフェやお店の店員さんなどと会話したり、道に迷った時に尋ねたりと、思い出もより一層深くなりました。

ルクールに通って、私の世界はすごく広がりました。思い切ってフラ

ンス語を始めてみて、良かったです。たくさんの刺激や出会いの場を作って頂いてルクールには本当に感謝しています。

興味がある方は、北浜にあるフランスへ Venez！！

---

### **miechie (事務職・大阪在住)**

私がルクールに1年間通って感じる1番の良さは、「とにかく楽しく続けられる！」という事です。私は以前からフランスの言葉や文化に興味がありましたが、一人で勉強を始めても三日坊主…。かといってスクールに通ってみてもマニュアル通りの授業に感じる事が多く、続けることが出来ませんでした。でもここのルクールに通ってから、自主性を大切にする自由なクラスの雰囲気がとても気に入って、週に1回のレッスンですが、優しい先生とフランスが大好きな生徒のみんなに会いに行くような気持ちで楽しく続いています。

中には先生からの「最近のフランスでこんなことがあったよ！」みたいなフランスの生活や文化のお話など、気軽なおしゃべりの時間もあるのが、初心者レベルの私にとってのオススメポイントです！(笑)  
また授業を通じて、美味しいフランス料理のお店、展示会や美術展といった「日本でも楽しめるフランス」の情報も得られるので、フランスを身近に感じたい私にとっては、とても大切な機会にもなっています。とにかく私にとってフランスが大好きな人達と一緒に過ごす時間は、意欲の湧くとても良い刺激になっています！

---

### **miki (会社員・大阪在住)**

私のルクールとの出会いは、パティスリー五感に置いてあったチラシでした。レトロビルの一室での授業は、学校の堅苦さとは無縁でとても居心地が良いです。

ルクールに来る前は、独学でフランス語を学ぼうとも思いましたが、結局続きませんでした。一緒に学ぶクラスメイトがいることが、モチベーション維持に繋がっていると思います。楽しみながら、勉強を継続しているうちに仏検2級にも合格しました。試験に向けて、苦しく勉強をしていたわけではないので、とてもラッキーでした。

フランス語を学んで、普段の生活の中に想像以上にフランス語が溢れていることに気づかされました。フランス語を軸に様々なフランス文化を知る機会が増え、学ぶ楽しさで人生が豊かになった気がします。フランス語でフランス旅行をすると、片言でも大袈裟に歓迎されたり、親切にしてもらうことが多かったので(たまたま?笑)、旅行前のフランス語学習は、個人的に特にオススメしたいと思います。

---

## Nori (Bonappétit めしあがれ・奈良)

ルクールさんとの初めての出会いは、web サイトでの検索でした。数あるスクールの中でルクールさんを何故？話せるようになるのが、難しいと言われているフランス語。せっかくなら『素敵な場所でフランス語を楽しく学びたい』という思いから…✦ 体験レッスンを受けて、ここなら続けられるかも？って思いました😊

フランス語を学ぼうと思ったのは、縁あってフレンチレストランでお仕事をするようになったからです。

フランスで料理を学んだ経験のあるシェフから話を聞いているうちに、私もフランスに行ってみたいと思い始めたこと、お料理の名前、調理方法や調理器具などにもフランス語が使われるので理解したい、そんな思いが重なったからでした●

どんな事もそうなのですが、勿論自分で勉強することは必要です。ただ、インターネットに掲載されてるものや本に書かれているものとは実際に表現の仕方が違っていたり…。また、勉強していて壁にぶつかった時や、自分の勉強の仕方で通じるのだろうか？

そんな思いや不安、そして自分が努力してきた成果を試せる場所が教室だと思えます。

フランス料理のシェフやパティシエを目指している方にはオススメです。

---

## Y.O. (会社員 大阪在住)

以前うちの向かいにフランス人夫婦が住んでおられ、彼らがフランスに帰られた後もフランス語でコンタクトしてみたかったのですが、フランス語は大学の第2 外国語でやった程度だったので、いつかきちんと勉強したいと思っていました。そんな時、たまたま会社の同僚がパリ旅行に行く前に少しフランス語を習いに行くということで話を聞くと、会社の近くのルクールに行くとのこと。それがきっかけで私も通い始めました。おかげで、今では元お向かいさんのフランス人とはメールや電話をフランス語で出来るようになり、何度か一人でパリから電車を乗り継いで遊びに会いに行きました。

ネイティブの先生は日本人の生徒に慣れておられ、こちらがフランス語でどう言っても良いかわからず、変な表現をしても、言いたいことを察してフランス語で言い替えてくれるので、授業もスムーズに進みます。また色々なジャンルのことをご存知で、たわいもない話題からフランスの政治、経済、文化などの話題まで、会話を盛り上げてくれます。クラスも ABC から学ぶ超初心者向けからあり、先生は日本語も通じるので、初心者の方も安心です(私も先生がボケた時のツッコミは大阪弁になります 笑)

今のところ仕事でフランス語を使う機会は余り無いのですが、今後

備えて勉強を続けていきたいと思います。



©2018 \*leCours\* tous droits réservés